

## 花巻市社会教育委員会議 会議録

日 時 平成31年3月20日（水） 午後1時30分～午後3時30分  
場 所 花巻市生涯学園都市会館1階 講座室  
出席者 委員出席者14名 石橋恕篤議長、市川浜副議長、福盛田弘氏、小原幸子氏、堀合範子氏、久保田廣美氏、高橋和恵氏、太田達久氏、藤原安生氏、伊藤晴二氏、菊池清氏、佐々木繁夫氏、藤本眞津子氏、門馬優子氏  
委員欠席者6名 齊藤義宏氏、吉田靖雅氏、伊藤昇氏、遠藤敦士氏、青木明希氏、佐々木さつき氏  
市側出席者6名 市川生涯学習部長、藤原生涯学習課長、菅原生涯学習課長補佐、菊池生涯学習係長、藤村主査、大窪主事

報道機関 なし

傍聴者 なし

- 次 第
- 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 委員紹介
  - 4 議題
    - ・平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画等について
  - 5 その他
  - 6 閉会

### 1 開会 (開会 午後1時30分)

事務局（菅原補佐） お疲れさまでございます。ご案内の時間となりましたので、次第に従いまして進めさせていただきます。会議に入ります前に欠席委員のご報告をいたします。お手元に配布されております社会教育委員名簿をご覧ください。欠席の報告がありましたのは、1番の齊藤委員、2番の吉田委員、4番の伊藤委員、17番の佐々木委員、この4名からは事前欠席のご報告がございました。7番の遠藤委員、10番の青木委員につきましては特に今のところ報告はありませんが、現在で14名の出席でございますので、本日の会議につきましては、花巻市社会教育委員会議、運営規則第7条の規定によりまして、成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、ただいまから、平成30年度花巻市社会教育委員会議を開催させていただきます。

開会に当たりまして、市川生涯学習部長よりご挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

事務局（市川  
部長）

皆さんこんにちは。今日は3月のお忙しい時期にお集りをいただきまして大変ありがとうございます。幸い天気がよく、温かくてよかったなと思っております。本当にこんな時期に、開催させていただいて、大変申しわけなく思っております。市議会の3月議会が昨日終わりました。来年度の予算が決まりました。来年度のほぼ予定している事業の骨格も、今日、御説明できるということでもありますので、今年度の事業を振り返りながら、来年度予定しているところをお話して、ご意見をいただければと考えております。

生涯学習に関しては、なかなか議会の質問等もこれまで少なく、図書館とか設備に関しては質問があるのですが、ソフトに関してなかなかなかったところ。今回の議会では少しありまして、特に予算委員会では、高齢者の講座に関してとか、今まで、ほとんどなかった芸術文化振興についてどう考えてるのか、質問もあるようになってきました。潜在的には需要があって、いろいろ事業をやっておったところなんですけども、なかなか反応がないと、どうなんだろうということもあったんですが、少し、そのあたりを頑張ってきているところに気づいてきてもらってるかなと思っております。皆様からのご意見をいただいて、よりよい生涯学習のまちということで、花巻市をアピールできますように、頑張りたいと思いますので、今日はどうぞよろしくお願いいたします。終わります。

事務局（菅  
原補佐）

続きまして石橋議長からもご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

石橋議長

はい。ご挨拶を申し上げます。先ほど部長さんからも御挨拶がありましたが、本当にいい日に恵まれたなあと。予報見てみますと、明日辺りからちょっと天気も乱れそうな感じでございますが、晴れてよかったなあと思っております。

最近、個人的な話で大変恐縮ですけれども、ぼうつとした生活をしておりまして、そのぼうつとした生活の中にもちょっと気を引くような問題がありました。特に色々ないじめとか、あるいは親による子供の虐待など目を疑うような問題がありました。私はちょっと気になったのは、悪ふざけによる、食品を例えば口に入れたものを吐き出すと

か、あるいは吐き出されたものをまな板の上に乗せるとか、あるいは中華料理などで、熱処理をしているところに炎が上がる、炎が上がったところで、たばこに火をつけて吸って見せるとかですね、そういったことがあります、大変なことだなあと感じました。印象としては、今までなかったことが、最近は出てくるようになりまして、何か社会が変わってきたんじゃないかなあと感じております。その社会が変わってきたことに対して、我々はどういう知恵でと申しましょうか、対処していかなければいけないのかな、そういう意味では、社会教育の重要性を私は痛感させられたような気がいたしました。

今日は各委員さん方から色々お話を承ることができると思っておりますので、自分の常日ごろ考えてる疑問について、話題に当ててくれればいなと期待いたしております。お粗末ではございますが私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

### 3 委員紹介 (自己紹介)

### 4 議題 (平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画等について)

事務局(菅原補佐)

それでは、早速でございますが、協議に入らせていただきます。これからの進行につきましては、石橋議長様よろしくお願いいいたします。議長さんと副議長さんには前の席に移動をお願いします。よろしくお願いいいたします。

石橋議長

ただいまから議題に入ります。議題は、平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画等についてであります。各委員さんの活発なご意見をお願いします。議事を始める前にお願いがあります。記録の都合上、発言の際にはマイクを使用してくださいようお願い申し上げます。また前の方の発言が終了しましてから、次の方は発言をしていただきたいと思っております。それでは早速、議事に入りたいと思っております。

議事は、平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画等についてであります。説明をお願いいたします。

事務局(藤原課長)

平成30年度事業実施報告及び平成31年度事業計画等について説明

石橋議長

はい。ありがとうございました。議論のやり方なんでございますが、

資料のナンバー1を見ていただきたいんですが、施策の方向で、1、2、3と区切られてございますので、同時にやる方法もございましょうけれども、整理をした形で1番2番3番というふうに従って、議事を進めて参りたいと思います。ひとつご協力のほどお願いいたします。

早速ですけれども、第1番目の生涯学習機会の充実について、御質問のある方は挙手をして、お名前を言っていただければよろしいですね。どなたかございませんでしょうか。

藤原委員

推進センターの藤原でございます。私、この会議初めてですし、市外に住んでいるものですので、ちょっとわからないところが多いと思います。すごく興味があるところで内容を知りたいと思ってご質問させていただきます。地域生涯学習担当者研修会について、研修の対象者とその研修の内容について教えていただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。

石橋議長

ご説明をお願いいたします。

事務局(藤原課長)

はい。ただいまご質問のありました、地域生涯学習支援事業は、市内に27のコミュニティーがございしますが、そこで、平成28年まで職員がコミュニティーセンターにいて、事業の展開をしてございましたけれども、平成28年度からコミュニティーが主体でとなりました。いきなり離されてもわからないということで、まず当課が中心になりまして、担当者の方を集めて、生涯学習事業の展開の仕方はどうだ、という座学もございましたし、生涯学習推進センターで実施している講座等にも参加させていただいたり、ワークショップ等を展開して、ざっくばらんにお話を伺ったりという形で進めているものでございます。

藤原委員

はい。ありがとうございます。やっぱり地域の方々が主体的に学びを行うために、地域の方の中に学びをコーディネートするような方が重要になってくるのかなと実は考えておりまして、そういった意味でも、この研修講座っていうのはすごく大切な役割を担っているのではないかなと思いますので、来年度も続けて開催されるようですので、当センターともいろいろ情報交換をさせていただきながら、私どももお手伝いさせていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

石橋議長

ありがとうございました。ほかにご質問等ございませんか。

堀合委員

堀合と申します。自発的主体的学習活動の支援相談体制の充実のところで、まなびキャンパスカード事業が2000人ぐらい、利用者が増ということで、私もこの数字びっくりしたんですが、どういった施策といますか傾向だったのか、何がいい結果に結びついたのか、何かありますでしょうか。

事務局(藤原課長)

まなびキャンパスカードでございますけれども、小中学生、高校生、富士大学の生徒さんも対象としているものでございます。なるべく校長会議等の機会を利用してお話はしてます。特に力を込めた自覚がないんですけれども、議会等で、例えば先人の部分でも、先ほどの部長からお話あったとおり、9月議会でも先人顕彰についてとか、生涯学習の部分に割と焦点が当たりつつあるのかなといったことがございました。詳しい分析はまだしてないですが、そういったようなところかなと思ってます。

石橋議長

ありがとうございます。堀合委員さんよろしゅうございますか。

小原委員

婦人会の小原と申します。多様なニーズ、ライフスタイルに応じた講座の開設で、この間の議会で傍聴した経緯もありますけども、よりよい生涯教育のあるべき姿とか、芸術文化の振興についてどうあるのかという、ご質問も議員さんの中からあったと先ほどお話がありました。後期高齢者がどんどん増えていく花巻市、30%以上になりますかね、後期高齢者人口は。まなび学園とか石鳥谷生涯学習会館、大迫、東和総合支所、かなり活躍しています。そこを使って、皆さん一生懸命楽しく、勉強しているわけですが、だんだん上の人の年齢が多くなってきて、足踏み状態というか、もういいですとかそんな声が、前よりは聞こえてきて、何か具体策をやっていかなきゃいけないのかなと私も一緒になって考えたりしてます。その方面は、いずれこれに出てくるのでしょうか。

事務局(藤原課長)

はい。確かに議会でも高齢者学習で質問が出されたところでございます。御承知のとおり、人生100年時代と言われておりますが、昔は生涯学習に参加する方が、80歳を境に出てこない方が多かったん

ですが、今は80歳過ぎても元気で向学心に燃える方々もたくさんおられます。あとは反対に、ちょっと定年が延びている関係で、高齢者大学の入学者が余り伸びてないという部分もございます。

今年はシニア大学創立50周年という節目のときです。いろんな関係者とお話をしながら、今後の高齢者への学習支援を、どうしていけばいいのかを議論して、よりよい形で進めて参りたいなと思っております。

石橋議長

ありがとうございました。よろしゅうございますか。それではほかにご質問ありますか。

菊池委員

菊池と申します。昨年ですが、ふれあい出前講座の減った理由のところで講師の検証と、著作権の関係があったんですが、それは今も変わってないんでしょうか。出前講座が減っているようなので、その関係なのか講師が減った関係なのか、その辺をご説明お願いします。

石橋議長

人数についてのご質問でございます。

事務局(藤原課長)

はい。確かに平成29年度に比べますと若干減ってはいますが、実は新規に登録した生涯学習講師が結構増えてまして、平成31年度はそれを踏まえて期待を込めて、書かせていただいたところがございます。このまま減少傾向が続くのかなと懸念しておりましたけれども、理由はわかりませんが、講師も確保できているなと思っております。

石橋議長

はい。ありがとうございました。菊池委員さんよろしゅうございますか。ありがとうございます。伊藤委員さん。

伊藤委員

伊藤です。先ほども出ました地域生涯学習担当者研修のことについて、市から地域に移行したときには、大変面食らった部分もあったようですけれども、お陰さまで大変丁寧な指導があつてか、軌道に乗ってきているようです。ただちょっと気になるのは、平成29年度の、延べ人数が70人に対して、平成30年度が49人と減ってるんですね。

結局、今、現場で困っているものの一つが、マンネリ化なんですよ。一旦、事がわかれば、あとはいいみたいな感じがあるのではないかと推測をします。なので、より新鮮に内容も多様に深くするためにどうしたらいいかが、求められているのかなと思いますので、3、4度目で

すから今度が大きなポイントになると思いますので、よろしく検討お願いしたいと思います。

事務局（藤原課長）

はい。ありがとうございます。今の御意見を参考にしながら進めて参りたいと考えてございます。今年度も実施したわけですが、けれども、非常に喜ばしい部分がありました。あるコミュニティーの方が計画した事業を、横断的にといいますか、近場のコミュニティーさんの住民の方も巻き込んで展開しようと、今、進めていると聞いてございます。コミュニティーの中でも、様々なワークショップのファシリテーターなどもできる方も結構いますので、そういった方は逆にこちらにも刺激を受けてますので、関係する生涯学習推進センター等とも連携しながら、さらに展開して参りたいなと思っております。ありがとうございます。

石橋議長

ありがとうございました。他に。門馬委員さん。

門馬委員

門馬でございます。先ほどまなびキャンパスカードの利用が多いことが話題になって、とっても喜ばしいことですが、施設によってどのぐらいの利用があったかわからないでしょうか。スポーツ施設まで入っていますから、そういうところの利用が多かったのかなと思いますが、例えば美術館、博物館とかの施設はどうでしょうか。

事務局（藤原課長）

はい。ちょっと前年度比較の部分がないですし、議会の資料でございますけれども、1月まででございますが、やはり童话村が多いなと思っております。あとは賢治記念館、博物館。その辺が多いのかなと思っております。

門馬委員

私は東和に住んでおります。東和といえば萬鉄五郎を輩出してるわけですが、中学校のすぐお膝元に美術館がありますが、3年間の内に1度も美術館に足を運ばなかった生徒も多くいるんじゃないかなと思います。賢治さんについては全国的に有名ですので、かなり認知度は高いし、何がしかの形で子供たちも触れ合うことが多いかと思っております。郷土が輩出した先人の、例えば東和でしたら萬ですが、どういう人が出たか、どういう足跡を残したかを知らないまま、全国に拡散してるのではないかと、非常に残念な感じがいたします。昨日も美術館の運営委員会議がありました。バスで学校単位に行くのはかなり大変なこ

とですので、歩いて行ける範囲に施設がありましたら、3年間のうち1年次はここ、2年次はここという機会を生涯学習の分野から、まなびキャンパスカードという緩やかなお勧めではなく、提案をしていってもいいんじゃないかなと思いました。

それから、花巻市内に着任してらっしゃる先生方もそういう理解がないんじゃないかなと思います。今日、小中学校の校長先生が欠席ですので残念ですが、先生方にもこういう人が地域から出ていることを、知っていただきたいと思います。そういう機会がありましたらお願いしたいと思います。

事務局（藤原課長）

はい。私も昨日、萬鉄五郎記念美術館の運営委員会に出席いたしましたしてそのお話を伺いました。先ほどの堀合委員のご質問と重複いたしますけれども機会を見てですね、校長会議等で進めていきたいと思ってございます。平成31年度の学校の年間計画を作成するに当たっては、校長会議でぜひ市内にたくさんの先人顕彰施設があるので、カリキュラムに組み入れていただきたいというお話はしていただいたところでございます。門馬委員のお話がありましたが、1月まで萬に小学生241人がキャンパスカードを使って利用したところでございます。東和に限らず、市内の各小中学校で利用していただければと思っております。私も光太郎記念館長も仰せつかってございまして、付け焼刃でございしますが、いろいろ勉強させてもらいな講座等、高村光太郎に触れる機会がありますと、いろんな興味が増してくると、この年になって分かるところもございしますので、若い小中学生の方々は、ぜひ先人顕彰施設で一つでも心に染み入るような何かがあるかと思っておりますので、利用していただければと思っております。

石橋議長

ありがとうございました。よろしいですか。太田委員さん。

太田委員

太田といいます。どうぞよろしく申し上げます。今の話、ものすごく大事なことだと思います。例えば東和にいて、萬のことを知りたいてって言ったときに、美術の先生が率先して連れて行って絵の素晴らしさを見せるとか、近場の先生たちが子供たちに仕掛けるコーディネートみたいなことはものすごく大事なような気がするんですよ。

賢治が有名だからと言ってよく知らないで、ただ連れて行くでなくて、新しく来た先生たちが宮沢賢治のよさを十分理解してこれは絶対生徒に分かってほしい、知ってほしいっていう先生たちの心を耕すこ

とがもっともっと子供たちの心を耕すことに繋がっていく気がします。そこができるかできないかは、学校の中はものすごく忙しいとは思いますが、大人が自分の心を耕してからでないと、賢治の良さを伝えるのは、表面的になるか本当に深く進化するか、分かれるところじゃないかなと思います。本当に今、言われてるところがすごく肝心なことで、現場にいる人たちにもう少し頑張ってもらえば、本当にうれしいことだなと思います。

石橋議長

はい。ありがとうございます。今のはご希望ですか。ありがとうございました。

事務局(藤原課長)

ご意見として承らせていただきます。

石橋議長

はい。佐々木委員さん。

佐々木委員

佐々木といいます。同じことになるとは思いますが、小中学生には郷土の偉人という副読本「揆奮」があるんです。わかりやすいのです。それは現在も継続していると思います。その高齢者版、大人版があれば、非常に情報発信になるのではないかなと。何十年か前に非常に厚い本ができたんですね。「花巻市の偉人」ですが、それをもっとシンプルにしたのがあれば非常に助かるなど。例えば山室機恵子とか、花巻温泉に馬面電車を呼び込んだ人、馬面電車そのものを考えた人とか、東和にもいっぱいいろいろな人がいるので、大人のための郷土の偉人の副読本なるものがあると非常に助かるなど思っております。知られてない人がたくさんいるので、昔の資料を参考にしてもいいと思うし、そのあと発掘された人物もいますので、そういう人たちを発掘してほしいなど思っております。

何年前か、大瀬川でしたか、コミュニティーセンターで「偉人」というパネルをつくったことあるんですが、それをもっとシンプルにしたものがあれば、非常にいいと思っております。要望です。

石橋議長

今の考えについて何かコメントございますか。

事務局(藤原課長)

はい。先人顕彰の一端ということで承りましたけれども、確かに既に知られている方を顕彰するのも一つですし、あとは埋もれている

方々もいると思います。当課の事業で先人顕彰というのがございますので、いろんなご意見も参考にしながら深めて参りたいなと思います。

石橋議長

ありがとうございました。佐々木委員さんそういうお話でした。ほかにご意見、ご質問等ございませんか。伊藤委員さん。

伊藤委員

伊藤です。どこで発言しようかと思ったんですが、直接、社会教育委員会議の中ではふさわしくないかなとは思いますが、どこにも言う場がないのでお話しします。先ほど出た「揆奮」の件です。その前に花巻の歴史の本が数10年前、50年以上前になります。北上でも水沢でも盛岡でも次々に新しいものに取り組んでいますよね。新しい歴史の成果を踏まえたもので、文体も分かり易くして書かれています。花巻でも歴史の本といいですか、1年2年、1人2人でできるものじゃないし、大変なことは分かっていますが、どこかで取り上げてほしいなど。史談会でも大変だと思いますし、教育委員会単独では難しいと思うんですよ。となると、ここかなと思ったりもしております。後の世に残すために、歴史が変わってきてますから、成果を取り入れたものを何とか着手する方向で、どこかで取り組んでほしいなという意見です。ありがとうございました。

石橋議長

市側はいかがお考えですか。

事務局（藤原課長）

はい。大変貴重なご意見ありがとうございます。確かに大切なことではございますが、一朝一夕、すぐにはなかなか難しいと思いますので、教育委員会の文化財課なり関係課ともお話ししながら、どういったものが効果的か考えながら、進めていければなと思っております。

石橋議長

はい。ありがとうございました。福盛田委員。

福盛田委員

福盛田と申します。生涯学習の講師登録者が増えている話がありました。22日に研修会でいろんな人たちに会えます。高齢者でいろんな知識を持つての方が卒業されていろんな所で活躍している場があり講師登録されてると思います。ただ、講師登録しても要請がない方もありますので、登録して人数が増えたではなくて、それをPRすること。要請がないとなれば悲しいので、その辺を伺いたいと思います。

石橋議長 いかがでございますか。

事務局（藤原課長） 周知という形では従前の広報なり、フェイスブックとホームページ等々でPRをして参りたいと思いますし、口コミ、それが多分一番効果的な気もしますので、生涯学園都市会館等に来られた方にも、積極的にお伝えしていくような手立てを、地道なところでございますけれども、それが一番効果的なのかなと考えております。

石橋議長 はい。ありがとうございます。福盛田委員さん、よろしいですか。ほかにご意見、ご質問等ございませんか。なければ、資料2、青少年の健全育成の推進という項目についてご質問あるいは、ご意見を承りたいと思います。いかがでございますでしょうか。市川委員。

市川委員 何年か前でしたが、すごくすごく荒れた成人式に出席いたしまして残念だなと。本当に涙が出るくらい残念な成人式に出席したことがございました。この席でも何回か危惧して、あんなに騒がせるために文化会館に大勢の人を集めて、あのくらいの時間をかけて、これが市でやる成人式なのかと、私この場で声を大きくして言った記憶を思い出しまして、そのあと、関係者がいろいろご苦労なさりながら、今のようスタイルに変えて、素晴らしい成果を上げてきたと。関係なさった方々に敬意を表したいと思いますし、さらにこれがいつまでも続いていけばいいと先ほどお話を伺いして思いました。先輩たちが築いてきたものを、そのあとに続く世代が、自主的に引き継いでやってるっていう、このことはやっぱり、これからの花巻を背負ってくれる人材を育成する場として素晴らしいことだといつも成人式に出席してそう思っております。担当なさる職員の方々、大変ご苦労していると思いますが、今後の取り組み、やはりマンネリ化っていうことも感じられますけども、それはそれとして大事なこともあるので、今後進めていく中で、当局としてどのように考えてるか、その辺、お聞かせいただければと思います。

石橋議長 ありがとうございます。

市川委員 市川委員さんでしたが、これについて。

事務局（藤原課長） はい。過去には非常に心配、懸念されたということでございます。

原課長)

最近は比較のおとなしい形で進んでおります。ご案内のとおり、当市の成人式は、式典の部分と、記念行事の部と二部構成で行ってございます。記念式典のほうは、当課が担当で行政主体ということでやっておりますし、2部の記念行事につきましては実行委員会、当該年度成人を迎える方と次年度成人を迎える方、約30名ほどでしょうか、その方々で今年度の場合は9月から15回ぐらいの会合を詰めてあのような記念行事をしました。さまざまな出席者、あるいは実行委員会の方々からのアンケートによりますと、記念式典のみではつまらないという意見もございましたので、今年と同じように来年もこの2部構成で進めて参りたいと思います。

やはり、同年代が実行委員会に加わっていることで、ある程度抑止力が働くのかなど。行政がお仕着せの形でやった場合は反発というのものもあるかもしれませんが、同年代の方々の実行委員会による記念行事ということで、落ちつきがなくて出入りする人はいますが、大暴れするような方は最近は見受けられません。中身は実行委員会を通じて吟味しつつ進めて参りたいと思っておりますが、この2部形式は当面、続けて参りたいなと思っております。

石橋議長

ありがとうございます。市川委員、よろしゅうございますか。ほかにご質問ございませんでしょうか。

佐々木委員

はい。お願いします。成人式に向けての取り組みは私も素晴らしいと思っております。実行委員会、自薦他薦もあるかもしれませんが、ほとんど自分から、立候補して出た青年たちだと思うんです。その人達に市民参画の場の提供をお願いしたいなど。例えば、青年会議所で青少年のためのいろんなイベントを持っていますよね。夏にキャンプ、あるいは遠野に行ったりとか。または体育協会でもあると思うし、市のイベントもあると思うんです。ですから、成人式の実行委員会に参加した皆さんに、市民のイベントのボランティアとして、具体的なこういう場があるんだけど、もしよかったら連絡してくださいませんかをお願いしたいなと思っております。市民育成会議ではサマーキャンプ、戸塚森でやっていますけども、そういういろんな場があるので。高校生を募集してボランティアでいろんなイベントに協力してもらっていますが、若い君たちが市の行事にボランティアとして参加する項目あるんだよと。もしよかったら参加しませんかと。全体に対しては難しい部分もあると思うんですが、自薦した

実行委員会の皆さんには、タイミングさえ合えばやってもいいよという人がいるのではないかということです。以上。

石橋議長 はい。ありがとうございました。そういう希望がございました。

事務局（藤原課長） ありがとうございます。強制はできないんですが、実行委員会のSNSとフェイスブックとか実際の活動がまだ残っているはずなので、周知という形で、強制ではなくてもこういうのもあるんだよということは可能だと思います。逆にそういうのがありましたらば、情報収集には努めてはいますが、見逃してることがございますので、皆様からそういうのがございましたらば、こちらにお伝えいただければと思います。

石橋議長 ありがとうございます。ほかにご質問ございませんか。私から御質問してよろしいでしょうか。青少年の非行防止についてなんですけれども、少年補導委員、84名ほどおられるようなんですけど、補導を受けた子供らがおられるようなんですけれども、どのくらいで、どういう内容なのか。もしも掌握しておられるのであれば、承りたいと思います。

事務局（藤原課長） 大変申しわけございません。その分のデータは持っていません。

石橋議長 そうですか。またチャンスがありました時にお願いたします。ほかにございませんでしょうか。なければ、今度、国際交流の推進に、軸足を移動したいと思いますが、よろしゅうございますか。3番の国際交流の推進について、委員さん方の御意見、御質問を承りたいと思います。質問のある方どうぞ手を挙げて、ご発言をお願いいたします。

菊池委員 迷ってましたが菊池でございます。国際交流、去年も同じような話をした記憶もございます。活動はちゃんとされてるんですが、どういったところでどういうことをしてるのか、この1年見てきても分からなかったんです。ホットスプリングスにしても、ベルンドルフにしても、ラットランド等いろいろありますが、どういうところであるとか経緯とかを知らない人が、まだまだたくさんいらっしゃるんじゃないかと思えますし、国際フェアの中でそれを紹介しているのかも、ごめんなさい、私ちょっと知らないんですが、その辺をもっとアピールす

る手だてではないのかなといつも考えています。私、大迫なんですけど、旧町内であれば小さいということもあり、誰が来ますよとか、今度どうい人が行きますよというのは、大体わかってたんですけども、やはり範囲も広がってくると、何をやってるのが見えないところがあるので、周知する方法を何かお考えでしょうか。その辺をちょっと伺いたいのですが。

石橋議長

ありがとうございました。周知徹底する方法を教えてくださいたいということです。

事務局（藤原課長）

周知徹底についてですが、広報で出してはございますし、地元に関係団体等もございます。例えば大迫ですとベルンドルフの関係で、ベルンドルフ友好会へ話してますし、ホームページとかそれに付随して、フェイスブック等では流してます。現状はそういった状態でございます。ご意見としては承りたいと思います。

石橋議長

ありがとうございました。ほかに。

小原委員

はい。小原ですけども私は東和町出身です。合併前はすごく盛んに留学生を受け入れて、毎年、ドイツ、イギリス、アメリカとやってたんですね、ホームステイ。それがぱたっとなくなって、東和は損してるなあと思いつながら、たまに、ホットスプリングスから来てる2人の先生方を受け入れたことありますが、皆さんに行っていないんですね。それで、歯がゆい感じがしたりしてました。旧市だけじゃなくて旧3町にも振っていただいてよろしいですし、石鳥谷さんは特別の地域との交流がおありのようですが、大迫さんとか東和は、ホームステイにいらしていた大学とか高校生が、どこかに消えちゃったというか、そんな感じに思っていますが、そんなことないでしょうかね。

事務局（藤原課長）

はい、わかる範囲でお答えいたします。国際交流も担当させていただいたこともありますが、花巻ではなく東和と交流したかったという話で向こうから消極的になったのも実はございました。そのときにちょっと苦労したのは、明日出発するという段階になってもまだ、ホストファミリーが決まらなかったこともございまして、いろいろ話してみますと、やはり消極的になった部分もございまして、取りやめたものも確かにございました。

従前から、東和では姉妹都市とか友好都市の締結をしてないけれども、非常に多方面のところとお付き合いをしていたのはありましたので、その辺の意見も尊重しつつ、それでも4箇所、市では交流しておりますので、これほど、海外派遣させてる市は岩手県では実はないんです。北上でも二つぐらい姉妹都市はあるんだけど、こんなに中学生で行ってるのは羨ましいと、高校に入ってから言われたという方もございます。なるべく不均衡にならないように、均衡性を持って、地域でそれぞれ、例えば東和中学校ですとか、大迫中学校、石鳥谷中学校から派遣者がゼロになることがないように協会でも、工夫しているところがございます。

従前の交流先のみではなくて、新しく知った交流先というのも当然ございますので、石鳥谷の場合は、ラットランドがございましたけども、それ以外のところとも当然交流する機会が増えましたし、東和もクリントン以外のいろんな海外の友好姉妹都市との交流もできるようになったと、そちらをプラス面と捉えまして、今進めていると思います。

石橋議長

ありがとうございました。よろしいですか。

堀合委員

今の国際交流に関わって、頼まれておりませんが、ひとつ宣伝をしたいと思います。私は花巻国際交流協会の賛助会員になっております。そうしますと月に一度「スターウイング」という広報紙、情報発信のものが送られてくるんです。確かインターネットでも、やっていると聞きましたが、そうしますと、いつ国際フェアがあるか、例えば国際フェアは12月の初めの土日をどっちか、毎年やってるようです。行ってみますと、非常にここ2、3年は発表の場が多くてですね、ただ見るだけではなくて、目とか耳とかでも楽しめる企画があるんだなあとかですね。それから語学教室に関してもいつから英会話教室です、いつからドイツ語教室です、私は余り行く機会もないんですが、そういった情報がたくさん載っております。年間2000円でたくさんの情報を得ることができるんです。参加できなくても国際交流の何かには役に立てるかなと思って、私もずっと継続して賛助会員になっております。私は社会教育委員になって何ができるかなと考えたときに、今日聞いたいろいろな情報とかを、まず自分で可能な限り、例えば萬さんに行って美術館を見学するとか、博物館をちょっとのぞいてみるとかして、私たちがその情報発信の1人になるのも一つの役目なのかなあと、私

何もできないので、いろいろ考えております。国際交流に関して知りたい人は賛助会員になって、どういったことが行われているのかを、私たちがまず知るってことも、一つの方法かなあとと思って、今ちょっと話をさせていただきました。

石橋議長

ありがとうございました。特にコメントはございませんか。

事務局（藤原課長）

はい。国際交流協会といいますか、そちらのほうのPRまでしていただきまして、誠にありがとうございます。確かに毎月1日ぐらいの発行で出しているようでございますので、ぜひご覧になって、よければ、賛助会員になっていただければと思います。

石橋議長

はい。ありがとうございました。ほかに、ご意見ございませんか。大変変則的なことで申しわけないんですけれども、高橋委員さん、何か、ご意見はございませんでしょうか。

高橋委員

ご指名ありがとうございます。いいチャンスを頂戴して大変うれしく思っております。ありがとうございます。私がかちょっとお聞きしたい、興味があるなと思ったのは、姉妹都市との周年事業でツアーを平成31年度は考えていると、先ほどお話もありましたし、この書面にもございますけれども、そのことについて、何かここで話しできることがあるのであれば、ぜひお聞きしたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。ありがとうございます。

事務局（藤原課長）

はい、国内友好都市の市民ツアーということだと思います。所管は国際交流室で、これから計画をしていくのだなと思ってございます。今のところ詳細はまだわかってございません。参考までに10年前は、それぞれ25周年、20周年の時にはですね、こちらの友好都市の青少年のキャンプが平塚の森で行われまして、そこに参加した当時の小学生が手形をつけたのをモニュメントにして、今もそれは残っております。前回はこちらで平塚と十和田の関係者も招いて、平塚の森で記念式典を行ったんですが、今回はそうじゃなくて、記念の市民ツアーを行おうということです。時期、規模等につきましては、今後詰めて、多分4月に友好都市交流委員会の総会がございますので、恐らくそこである程度、明らかになるのではないかとということでございます。はっきりしたところがわからなくて申しわけないんですが、そういった段階

でございます。

石橋議長

ありがとうございました。

高橋委員

はい。大変ありがとうございました。先ほど参考にお話しされました、平塚の森での手形につきましても、私どもも協力をさせていただきました。今も交流キャンプで協力させていただいてますが、年々、何ていうんでしょうか、体験型が薄くなってきたと言いましょか。例えば温泉から、カレーライス届けてもらってそれを食べるであるとか、正しいかどうかわかんないけれども、あるいはテントに泊まるのも、例えば1泊。建てることをまず十分にできない状況で、大人が建ててそこに子供が泊まるみたいな、そういう感じで、我々お手伝いなどさせていただいてるんですが、本来これでいいのかなって、野外活動する上でこれでいいのかなということがちょっと近年、見受けられております。

またボーイスカウトなどにもお手伝いをいただいているんですけども、これもまた高齢化が進んでます。先ほど例えば、成人式の実行委員の方々をどうかなとか、さまざま私も考えたんですが。だからそのような手だても、せっかく周年事業であることですし検討されてはどうかしらと思いましたので、ちょっとチャンスをいただきましたので、ここでお話しさせていただきます。ありがとうございました。

石橋議長

はい、ありがとうございました。ほかにご質問はございませんか。久保田委員さん、いかがでございますか。

久保田委員

皆さんのお話を聞いておりました。実は私、おとしまで生涯学習におりましたので、事業の内容もある程度わかってるつもりでおりましたので、質問はなかなかちょっと失礼かなと思っておりました。黙っておりましたけども、国内友好都市交流事業、少年少女交流事業という事業があるんですけども、実は体育協会でもキッズアスリートは、研修の中で平塚に行って東海大学さんのお世話になりながら、交流を深めてくるという行事もやっております。ですから、行政評価委員会とかの中でも、担当の部署だけで事業を組むのがいいのか、ある程度そういった事業に取り組んでる団体もあると思いますので、そこと連携をすればより人も集めやすい、充実感を得てるのかなと思います。余裕があれば、その辺のことも、検討してい

ただければと思います。以上です。

石橋議長

ありがとうございました。お話は、希望ということで承らせていただきました。ほかに、質問あるいはご意見等ございませんでしょうか。なければですね、以上、議題については終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

## 5 その他

福盛田委員

冒頭にご挨拶の中で市川部長さんが、議会の中で、芸術文化に関する質問とか、そんなこともありましたと言われました。議員さんの中でも芸術文化活動をしてる人もいるんですが、今までそういう方がいても、議題の中で出なかったと。また、話の中でどういうことが出たのか、その辺ちょっと知りたいので、もし差し支えがなければお答えをお願いします。

事務局（市川部長）

はい。芸術文化、全くなかったわけじゃなくて、例えば市民劇場のあり方とか、文化会館も人が入るようにするべきとか、個別にあったわけなんですけども、今回の予算委員会では、特に県で巡回している芸術祭、美術展みたいなのをやってほしいというご意見が数名の方から出ました。議会の報告とって、各地区で議員の皆さんが説明する時にですね、美術関係の方が質問したことがあるみたいで、それを踏まえての質問になったようなんですけども。あとは収蔵庫、美術品を収蔵してるんですけれども、その収蔵庫のあり方はどうだとか、市の美術品を展示したほうがいいんじゃないかとか、いろいろな機会で開催してるんですけども。そういう芸術文化振興、特にその美術に関するものが、今回3名ほどの方から質問がでた状況でありました。

事務局（菅原補佐）

はい。ほかにございますでしょうか。よろしいですか。はい。ほかにございますか。ほかにないようですので、閉会に当たりまして、市川部長からご挨拶を申し上げます。

## 6 閉会

事務局（市

はい、皆様方には本当に長い時間にわたりまして貴重なご意見を

川部長)

いただいたと思っております。全てが全てですね、すぐできるかというとなかなかできない部分もありますが、できる部分は、すぐ来年からいろいろやっていきたいと思えますし、また引き続き、この会に限らずですね、何かご意見ありましたらですね、遠慮なくお申し付けくださいますようお願いしたいと思います。また冒頭に申した通りですね、花巻市はやっぱり、学びのまちであろうかな、文化芸術もそうですけども、生涯学習のまちだろうなと思っておりますので、皆様方のご協力、ご指導をいただきたいと思っております。本日はありがとうございました。

事務局(菅原補佐)

ありがとうございました。以上をもちまして会議のほうを終了させていただきます。ありがとうございました。